

平成30年度

萩市消費生活モニター通信③



©萩市消費生活センター

萩市 消費生活センター

萩市消費生活モニター通信③ 目次

借入金の過払いの返済について	1
架空請求について	1
「PCB」廃棄物について	2
英語ガイドについて	2
萩市消費生活モニター通信	3
研修会に参加して	3～4
消費者力向上セミナーに参加して	4
印象に残った2つの研修について	5
消費生活モニターを終えて	6

借入金の過払いの返済について

テレビで、時々借入金の過払いの返済のことをしています。どのようにして、こんな事になるのか疑問です。

(消費生活センター)

「過払い金」とは借りたお金(元金)と利息の合計額よりも多く払い過ぎたお金のことで、支払いを約束した利息が、利息制限法の上限利率(15~20%)を超えていた場合に発生します。平成22年6月18日以降は利息制限法を超える利息の約束が禁止されましたが、それ以前から上限利率を超えた利息で返済していた場合は過払い金発生の可能性があります。

過払い金は、最後に取引をした日から10年を経過するまで請求できます。この期間、貸金業者は借主から請求があれば、最初の貸し付けから取引終了までの履歴を開示しなければなりません。利息制限法の制限利息超過部分は元本に充当され、元本に充当された結果、元本を完済した後に支払った金額は「過払金」として返還請求ができます。

(注) 利息制限法の制限利率とは、金融業者から借り入れた金額が10万円未満では年20%、10万円以上100万円未満では年18%、100万円以上では年15%としている。



架空請求について

架空請求のハガキが主人宛に届きました。私にも、以前届いたことがあります。女性宛に届くことが多いと聞いていましたが、主人にも届きました。相談状況は、どのようになっているのでしょうか。



(消費生活センター)

「架空請求」とは身に覚えのない請求を受けることです。最近、まったく根拠のない架空請求が横行しています。これらは、何らかの名簿を入手した悪質業者が、その名簿に基づき、アトラダムに根拠のない請求ハガキや電子メールを大量に送ったものと思われます。

萩市消費生活センターでも平成29年度秋頃より架空請求ハガキの相談が急増し、29年度相談件数614件中、架空請求218件(うち架空請求ハガキ152件)、30年度相談件数502件中、架空請求139件(うち架空請求ハガキ113件)。上記のように、架空請求の相談のうち7~8割は、架空請求ハガキに関するものです。

ハガキが届くのは主に女性が多く、年代も当初60代前後から最近では70代~80代の女性にも届き、恐怖心をあおるような脅し文句に心理的に追い込まれて相談される方も多いです。不安な時は業者に連絡するのではなく、消費生活センターに相談してください。

「PCB」廃棄物について

最近、テレビで「PCB」の廃棄物のお知らせがありますが、一瞬のことで内容がよく分かりません。具体的に知りたいのですが、よろしくお願ひします。

(環境衛生課)

まず、PCBとは、「ポリ塩化ビフェニル」のことです。そして、最近テレビCMで放送している「PCB」の件とは、「PCB廃棄物の期限内の処分をお願いします」というテレビCMと考えられます。

これは、高濃度PCB廃棄物は、地域ごとに定められた処分期間内に必ず処分しなければなりません」という内容を告知しているものです。

山口県は、北九州事業エリアに含まれ、高濃度PCB廃棄物(安定器及び汚染物等)の処分期間は、2021年3月31日までに処分しなければならない、となっています。

なお、環境省のホームページで、テレビCMを見ることができます。

ただし、昭和52年3月までに建築・改修された建物の照明器具はPCB使用の可能性がありますが、一般家庭用照明器具は対象ではありません。

お問い合わせ PCB特別措置法については、各都道府県が窓口となっています。

詳しくは、山口県環境生活部 廃棄物・リサイクル対策課にお問い合わせください(Tel 083-933-2988)。

英語ガイドについて

ボランティアで、ユニバーサルデザイン萩として活動しています。

先日、城下町で自転車に乗ったフランス人夫婦に出会いました。どうして萩に来たのですかと聞いたら、フランスで、SNSにより友達から萩を勧められたと言われました。久保田家に案内をして、着物を試着してもらうと、大変喜ばれ、ご主人は写真をたくさん撮られました。



その時感じたのですが、英語ガイドの必要性があると思いましたので、ぜひ、お願ひします。

(観光課)

英語ガイドの必要性は十分認識していますが、現在、英語でガイドができる人材が不足しています。このことから、外国人観光客への対応として、多言語音声ガイドアプリ「萩たびガイド」を整備しています。

また、英語でおもてなしができるよう、萩おもてなし推進協議会(事務局:観光課)では、英会話セミナーを開催しています。今後、英語ガイド育成に向けた取り組みも検討してまいります。

さらに、訪日外国人の受入体制の強化を図るため、観光案内看板の多言語表示の充実、Wi-Fiスポットの増設等に向けて取り組んでいます。

萩市消費生活モニター通信

消費生活モニターとして、研修会すべて参加が出来なくて残念でしたが、後で送られてくる「萩市消費生活モニター通信」で、研修会に参加できなかった情報や消費生活センターに相談されている事への回答とかを読んで、たくさんの知識を得る事ができ本当に良かったと思っています。仕事の関係で前の「モニター通信」も見ることができ、読めば読む程知らなかったことが多くもっとこの「モニター通信」の情報を一般市民の方が知れる方法があればと思いました（公民館に置いていますが何人の方が見ているのでしょうか）。

（消費生活センター）

「萩市消費生活モニター通信」は、市内の消費生活モニター（10名）から寄せられました質問や意見に対する回答を掲載したもので、年3回発行しています。

本庁の市政情報コーナーや各総合事務所、支所、出張所や市内図書館で閲覧できます。

また、萩市ホームページでもご覧になることができます。

多くの皆様に、見ていただけるよう啓発に努めていきたいと思ひます。



研修会に参加して

「フェアトレードをもっと身近に」という演題で、防府市でフェアトレード商品を販売している松浦和子氏の話をお聴きしました。フェアトレードという言葉は、初めて聞きました。

それは、途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、生産者の自立を支えるしくみです。つまり、公平な貿易です。最低価格の保障で、先払いと持続的な取引で安定した収入と生活につながるようになるのでしょう。それから、むやみに機械化はせず、手仕事を重視し伝統的な技術を尊重する、それが大事です。

これからは、意識して店で選んで購入して、フェアトレードの品を賛助していきたいと思ひます。



研修会に参加して

研修会である映画を観ました。それは、大学の生徒と先生がカレーを一から作るという内容でした。野菜なら種を畑にまいて育てるところから行い、お肉なら肉にする動物を育て、殺し、処理も行うなど、使用する食材、調味料も全て自分達で作り、作業して、カレーを作るところまでの工程の映画でした。

私がこの映画で一番感じたことは、この世の全ての物には命があり、1つ1つ尊い存在だということです。

近年、いじめ、親による子への虐待が増加傾向にあり、毎日痛ましいニュースを目にします。その理由は、様々だと思いますが、どんな人にも物にも命があり、この世でたった1つの尊いものであり、全て大切にすべきことであると考えます。そのことに本当に気付けば、むやみに傷つけることは出来ないと思います。今回のこの映画を是非子供達に観てほしいと思います。



消費者力向上セミナーに参加して

何も知らずの参加でした。ただ単純に“エシカル消費”という言葉が初めて聞いたので、どういう意味なの？という興味関心で参加させて頂きました。普段の生活も、とにかく“ロスがないように…”が私の生活の基本でやっています。これからも、自然や人に優しい生活を心がけることが一番と改めて感じたところです。

また、山口県地域消費者団体連絡協議会会長さんのお話の中で、食の新しい管理法“HACCP”という言葉も、他の研修会で初めて聞いて知っておりましたが、常に新しい情報、言葉にアンテナを張ることが自分にとって、また人にとっても必要なことだと感じます。

私は、生け花をしていて多くの花屋で買い物をしてしていますが、花の産地表記って今まで見たことなかったなと改めて思ったところです。産地表記があると、花を生ける気持ちもその土地を思い変わってくると思います。

また、カレーライスを一から作るドキュメンタリー映画は、今の物にあふれた中で生活している私達にとって大変必要な内容だと思って、くい入るように魅せられました。今の社会、感謝の気持ちをいつも持つことが大事なことだと思います。

印象に残った 2 つの研修について

「フェアトレードをもっと身近に」という演題の講演をききました。「エシカル消費」と「フェアトレード」という言葉、今盛んにテレビやチラシで目にすることが多くなっています。私は、芸人の出ているテレビ番組で、防府市に取り扱っているお店があることをも知り、気になっていました。また、スーパーのチラシでエシカルの文字が目につき、なんだろうと思っていました。タイムリーな研修に、とても興味をそそられました。

先日、防府市のお店に行ってきました。研修時に買えなかった物や品揃えを見たくて寄ってみました。興味をそそられましたが、自分の欲しいもの・気になる物を買いました。また、のぞいてみようと思います。

消費者力向上セミナーでの映画では、「命をいただく」私たちの生命維持に欠かせない事柄の根本を見直し、自分の今を見つめ、日々の農業生活から学んだことのありがたさを再認識しました。見よう見まねでやり始めた野菜作りは失敗作も多く、本を見たり、近所の人に聞いたり、自分でも工夫したりしていくうちに、いつしか野菜に「大きくなあれ」と声をかけ、大きくなれば「ありがとう」と感謝の声かけが自然にできるようになってきました。折角できた野菜たちを無駄にしたくないと、私も最大限料理や加工に使い、友達にももらってもらい、感謝され、満足の日々です。

買い物は減りましたが、エシカルでフェアトレードな思いを持って、質のよい品物を選び、感謝を忘れず、生活していくよう心がけます。



※ 用語説明

- ・フェアトレード……フェアトレードとは、「公平な貿易」で、途上国の生産者に適正な賃金や労働条件を保証した価格で取引することで、生産者の自立を支えるしくみです。
- ・エシカル消費……エシカルとは、「道徳・倫理」という意味を表す言葉。エシカル消費は、環境、社会、人に優しい消費です。

消費生活モニターを終えて

2年間、大変お世話になりました。あまりお役に立てなかったように思いますが、色々勉強させていただき、ありがとうございました。これからも、消費者の立場で気を付けて生活しようと思います。

消費生活モニターを終えて

ごみの分別、詐欺への対処法等、色々な企画に参加させていただき勉強になりました。

自分では、しっかりしている大丈夫だと思っていましたが、老いは確実にやってきているのを今実感しています（トホホ）。

少子高齢化、人口減少といった暗～い、いや～な波に押しつぶされないよう、頑張っていかなきゃあとと思っています。

2年間、大変お世話になりました。

消費生活モニターを終えて

2期2年間、消費生活モニターを務めさせていただきました。年3回のレポートに何を書いたらいいか、迷いながら過ぎていったような気がします。内容は、その時その時に感じた疑問や自分の仕事に関するものといった、消費生活に該当するものかどうか、いまだに疑問なものが多かったですが、市役所の各担当部署が真摯に回答をしていただきました。こういう役目をしなければ、聞けないことばかりでした。

薬とサプリメントの研修会があり、当時購入を考えていたサプリメントがあったのですが、目に見えるような劇的な効果がないのがサプリメントとの講義を受け、購入をやめたことがありました。

今後も、消費生活サポーターとして研修会にもできる限り参加させていただきます。2年間、どうもありがとうございました。

萩市消費生活センター

0838-25-0999

訪問販売、架空請求、クーリング・オフなどの契約・
解約に関する問題や、多重債務、商品の安全性・品質
など消費生活全般の相談に応じます。

一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。

